

深井英五 （松島） 銀行家、歌人。明治四年十一月二十日群馬縣高崎生れ、
昭和二十年十月二十一日歿（一八七二—一九四一）。號無縁生、維廉。同志社
普通學校卒。明治二十六年國民新聞社、民友社記者。二十九年社長徳
富蘇峰と共に歐洲行の途次、ヤースナヤ・ポリヤーナのトルストイを
訪問（ア・イ・シフマン著、末包丈夫訳『トルストイと日本』昭和四
十一年十一月十五日朝日新聞社）。二十二年松方正義藏相秘書官に轉
じ、翌年日本銀行入行。理事、副總裁を経て、昭和十年總裁、十二年
辭任。貴族院議員、樞密顧問官歴任。少時郷土の歌人田島尋枝の影響
下に在り、父兄景貫によりて和歌を知り、また同志社時代池袋清風の
歌談を聴き、記者時代には正岡子規の歌論を讀むなどして自らも隨時
作歌、晩年『似類集』（昭和十九年七月二十五日序、無刊記私家版）
と題して纏めた。

著書に、『通貨調節論』（昭和三年六月十五日日本評論社）、『通貨問
題とこの金解禁』（昭和四年十月二十日日本評論社）、『金の價值
と通貨の價值』（昭和六年一月序、金融研究會）、『金本位制
策』（昭和十二年五月十八日千倉書房）、『人物と思想』（昭和十四
年二月—十二月日本評論社）、『回顧七十年』（昭和十六年十一月十
五日岩波書店）、『樞密院重要議

事覽書』（昭和二十八年三月五日
岩波書店）等。

